

平成25年度
第8回阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成25年度第8回阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成25年12月19日(木)

開会 午後3時00分

閉会 午後4時30分

2 場 所 吉野支所 2階会議室

3 出席委員

| | |
|----------|-----------|
| 委 員 長 | 安 田 佳 子 |
| 委員長職務代理者 | 重 清 由 充 |
| 委 員 | 大 村 勝 子 |
| 委 員 | 大 塚 清 |
| 委 員 | 大 戸 井 美 生 |
| 委員(教育長) | 坂 東 英 司 |

4 会議出席者

| | |
|----------------------|-----------|
| 教 育 次 長 | 新 居 正 和 |
| 教 育 次 長 | 藤 本 功 男 |
| 教 育 総 務 課 長 | 三 浦 康 雄 |
| 学 校 教 育 課 長 | 大 倉 敏 美 |
| (書記) 教 育 総 務 課 長 補 佐 | 上 田 美 智 代 |

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 平成25年度教育委員会一般会計予算補正第4号について
- (4) 準要保護の認定について
- (5) その他について

会議の概要は、次のとおり。

【安田委員長】 定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【安田委員長】 事務局に説明を求める。

【新居教育次長】 第7回定例会の会議録について説明する。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】 「前回会議録の承認について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【安田委員長】 教育長に報告を求める。

【坂東教育長】 11月17日から12月19日までの、主だった教育委員会行事等について報告。

〈質 疑〉

【安田委員長】 私も、11月23日、24日と全国人権・同和教育研究大会に参加した。24日の総括で、阿波市の先生方が素晴らしい意見を発表されていた。

【大塚委員】 11月30日の「からだによし! のがわフェスティバル」とは、どのような行事なのか。

【坂東教育長】 吉野川保健所主催のイベントで、主には、野菜を使った体にいいメニューを募集して、小学生、中学生、高校生、一般の各部で優秀作品を表彰する。

【大村委員】 11月29日の第4回中高一貫教育中高代表者会に関連して、中高一貫教育は、始まってから長い歴史をもつようになった。長い歴史はあるが、何か決まったルールに敷かれている感じも受ける。

【坂東教育長】 阿波西高等学校への中高一貫教育の入試は、いわゆる一般の高校の入試ではなくて、作文と面接のみになっている。中学3年生の大事な時期に、作文だけ書いていけば受かるというのはどうだろうかということが、議題にもなっていた。ほかの教科の勉強がおろそかになっているのではないかという反省点が挙がっている。今までも入学後のテストはしていたが、このテストのあることをきちんと自覚させて、合格が確定した後も、勉強をしっかりさせて、入学後の学力向上につなげたいという中学・高校双方の思いがある。

【大村委員】 現場の先生方は、それぞれの立場で、ちょっとしたジレンマをもっているように感じた。他の郡市にないものがあるのだから、良いものにしてほしい。

12月5日の人権パレードだが、吉野地区だけの開催なので、他の地区でもローテーションを組んで行えば、全市民の人権意識付けになるのではないだろうか。市民の方から、そういう声を聞いた。

【藤本教育次長】この人権パレードは、市長部局の人権課が担当となっている。人権擁護委員、法務局、警察なども参加して行っている。

【大戸井委員】私自身、小学生のときに参加した。一条小学校、柿原小学校では、伝統行事にもなっている。もう50年ぐらいは、行っていると思う。

【安田委員長】それだけ長い歴史があるのなら、他の地区へもって行ってしまえば、地元の人々の気持ちも考える必要があるかもしれない。

【大村委員】人権高揚を図るためにも、全市の人に知ってほしい、参加してほしいという気持ちにも一理ある。そういう声があるということも、知っておいていただきたい。

【重清職務代理者】11月21日の市人権教育研究大会では、就学前の幼稚園、保育所に参加した。「自分の思いを言葉で伝えながら、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ」、これが当日のねらいであった。すべての子どもたちが、肌寒い日にも関わらず、元気よく、外で遊んでいた。独りでいる子は、一人もいなかった。リレー遊び、固定遊具での遊び、色水遊び、ご馳走づくり、砂遊びなど、それぞれが遊びたいところで遊んでいた。

リレー遊びをしている子どもたちは、一緒にやろうと友達に声をかけたり、ルールを決めたり、また、勝敗にもこだわりながら遊んでいた。固定遊具を使っての宝探しでは、遊びの方向性を先生が示しながら、子どもは夢中になってよく遊んでいた。砂場では、水をくむ人、穴を掘る人など、役割分担がしっかりできていて、表情も明るく楽しそうで、みんなで共感して遊び込んでいるようだった。色水遊びやご馳走づくりでも、自分なりに考えたり、試したりしながら、出来上がったときに喜びを共感し合っていた。この中で一番驚いたのは、片付けの仕方。子どもたち一人ひとりが、自分たちが遊んだ物を、手がかじかみながらも、きれいに水洗いして、食器の置き方、しまい方を工夫したり、砂場をきれいに掃いたり、ネットまで子どもたちが張って、みんなで片付けができていたことにとっても感心した。講師で来られていた県人権教育指導員の先生は、1カ月前にも、事前研究で林幼稚園に来られていたようだが、わずか1カ月の間に、同じ遊びをしていても、深みができ、中身がアップしているとおっしゃっていた。

講演では「一人ひとりの子どもの悲しみをしっかりと受け止めることが大切で、先生の接し方によって、信頼関係が生まれる。」と話されていた。家庭・家族が源で一番大切な場であるが、いろいろな家庭環境から離れて、初めて家族以外の友達や先生と接して学ぶ場である保育所や幼稚園の在り方を、しっかりと学べた講演で

あった。参加された先生方も、しっかり聞いておられ、たいへん充実した会となっていた。

全体を通して、子どもたちの成長に本当に驚きを感じた。見守り、導いてこられた先生方のご苦勞に対し、感謝したい。また、これからも頑張っていたいただきたいと思う。自尊感情を大切に育てること、道徳性、心の育ちは幼児期が一番大切だと感じた。

【大村委員】伊沢小学校の研究会に参加した。1年生から6年生まで、すべての教室を見た。私個人の感想としては、先生方の指導に関して、素晴らしいと感じる人と、そうでもないと感じる人もいた。分科会では、支援学級のクラスで、それぞれいい意見が出されていて良かったと思う。先生方は、毎年、新しい気持ちで、人権教育を学校経営の中に位置付けて実践されていると思う。マンネリ化にならないように、子どもたちの発展を補助して欲しいという思いで、見させていただいた。

【大塚委員】私は、中学校へ参加した。各学年、各クラスごとに特徴があって、机をコの字型にしたり、班ごとにしたり、発表の仕方もいろいろで、それぞれのクラスの特徴があった。先生の授業の仕方にも、それぞれの特徴が表れていたと思う。

ある子が発表をされていて、市内の先生方がたくさん来ていて緊張したのか、途中でつまってしまった。どうするのかと見ていたら、「最初からやり直していいですか。」と言われて、最後まできちんと自分の考えを述べた。中学生であんなことができるのは立派だ、素晴らしいなど、たいへん感心したことが印象に残っている。

【坂東教育長】私も、阿波中学校へ行った。指導案だが、同じ題材で学年が同じことをするところと、バラバラなところがあった。同じ題材でするのも、学年団として、まとまって研究が深まるという意味でいいのではないかなと思った。授業内容を見てみると、切り込み方がそれぞれ違うので、個性を出して授業をされていると感じた。

【安田委員長】私は、伊沢小学校の支援学級の授業を見せてもらった。学年ごとに、テーマを決めて発表するという形式だった。支援学級の子どもたちには苦手なことがたくさんあると思うが、先生もいろいろと手助けしながら、すごく生き生きと発表されているのを見て感動した。

【大戸井委員】徳島駅伝に、今年・去年と非常に力を入れている印象を受けるが、今年は、目標とする順位などはあるのだろうか。

【坂東教育長】昨年度は11位であり、素晴らしい成績だったと、みなさん言われている。ただ、今年は、去年活躍された方がそのままチームに残っていないので、そういう意味では、ハンディキャップはあると思う。しかし、チームワークで、自分たちの力を出そうと頑張っている。

【大村委員】小学生の陸上クラブなどで練習を積んでいた子どもたちも大きくなった

と思うが、もう、その子たちは活躍しているのだろうか。

【藤本教育次長】陸上の有力校へ入学して、力をつけてきている子どもや、今回の駅伝に出場している子たちもいる。やはり、ジュニアを育てていくことが、徐々に上へとつながっていくと思う。

【大村委員】小さいときから練習することが大切だ。1年間などの短期間では、なかなか選手として走れるようにはならない。

【大塚委員】次期のエースになるような子が育ってほしい。

【藤本教育次長】阿波市内の学校が陸上をしている関係で、来年度も、他の市町村から阿波市へ通学する子もいる。地道な努力が、少しずつ、つながっていている。

【安田委員長】結団式のとき、陸上クラブの子どもたちが応援に駆けつけていた。この子たちが、また何年か経ったら、今度は選手になっていくのかなと、結団式を見ながら思っていた。

【安田委員長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 平成25年度教育委員会一般会計予算補正第4号について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【新居教育次長】平成25年度教育委員会一般会計予算補正第4号の歳入・歳出について説明。

〈質 疑〉

【安田委員長】学校給食費のところに備品購入費があるが、新しい給食センター用の物なのか。

【新居教育次長】そうである。

【大村委員】今の阿波や市場の給食センターで使っている物は、使わないのか。

【三浦教育総務課長】使用している機械等も老朽化している。

【大村委員】食器入れのカゴなど、ほかにもいろいろあると思うが、そういう物も、すべて使わないのか。

【三浦教育総務課長】使える物は使う、と考えている。事務机など、使える物は新しい物を買わずに、新センターに持っていく。

【大村委員】食器類やカゴ、お盆などは、すべて新しくなるのか。

【三浦教育総務課長】新しくなる。

【大村委員】自動車も使えないのか。食器などが変われば、配送車も使えなくなると思うが。

【三浦教育総務課長】配送車も、使える車は使う。

【大村委員】食器類がすべて新くなれば、カゴやお盆類が、コンテナ車に入る・入らないという問題が出てくる。すべて新しくするのは気持ちがいいが、こんな時代

だから、使える物は使ってほしい。

【三浦教育総務課長】庁舎建設と同様に、使える物は使っていこうという考えでいるが、食器は消耗品として、新しい物にさせてもらった。

【大村委員】市場の給食センターの食器類も、良い物を使っていたと思うが。

【三浦教育総務課長】防災のために置いておくという計画もある。

【大村委員】それであれば、いざという時に使うことができる。廃棄するにも、費用がたたくさんいる。

【三浦教育総務課長】防災のために、どこかに保管しておくことを、現在検討している。

【安田委員長】消費税が上がる前に買っておけば、その分が浮くので経済的だ。

【大村委員】この3月までに買うのか。契約していれば、もう3%増税分は、必要ないのか。

【新居教育次長】納品を、3月31日までにする必要がある。

【大塚委員】供用開始は、来年度の秋からか。

【坂東教育長】9月からである。

【新居教育次長】竣工が7月で、夏休みに練習して、2学期から新センターでの給食を開始する。

【大塚委員】吉野・土成は、その次の年度からか。

【新居教育次長】27年4月からとなる。

【大塚委員】新庁舎は、いつからか。

【新居教育次長】庁舎は、27年の正月に移転する。

【大村委員】国の補助金は、付かないのか。

【新居教育次長】もともと、補助金は少なく、2億ぐらいしかない。食数・人数で決まっているので、いくら規模を大きくしても、補助金の額が増えることはない。

【安田委員長】特例債はないのか。

【三浦教育総務課長】特例債も使う。

【大塚委員】特例債をいくらまで使えるなどの基準はあるのか。

【三浦教育総務課長】特例債の起債の要件があり、それに基づいて算定されている。

【大塚委員】エレベーターの保守点検の項目があるが、いつもこのぐらい必要なのか。

【新居教育次長】補正額は、四つの学校の3か月分である。

【安田委員長】これで、全部の学校についてのか。

【藤本教育次長】一部付いていない学校もある。

【大村委員】光熱水費の補正のある学校が一部あるが、使い過ぎたということか。

【大倉学校教育課長】電気料金が値上げしたこともあり、もともと予算が少なかった学校について、不足分を補正した。これらの学校が、使い過ぎているということで

はないと思う。一条小学校については、一条幼稚園が空き教室に移転してくるので、その分を増額している。

【大塚委員】最初の見積もりが少なかった学校もあるだろうし、最終的にいくら使ったか、トータルでみる必要がある。

【大村委員】太陽光発電装置を設置している学校で、設置前と設置後の電気代の比較を求められていたように思うが、調査しているのか。

【三浦教育総務課長】来年報告できるよう調査することを、担当に伝えている。

【安田委員長】「平成25年度教育委員会一般会計予算補正第4号について」を了承する旨を告げる。

(4) 準要保護の認定について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【大倉学校教育課長】準要保護の認定について、学校別準・要保護児童生徒数を基に説明。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(5) その他について

【安田委員長】委員と事務局に何かあるか尋ねる。

〈質 疑〉

【安田委員長】来年度から給食を調理委託する業者は、アレルギー対応をしてくれるのか。

【三浦教育総務課長】対応してくれる。給食センターの中にも、アレルギー対応の部屋を用意している。

【安田委員長】今まで学校の給食は食べられなかったが、今度は食べられるのかなど、保護者の方もたいへん期待している。できるだけの調理をしていただけたらと思う。

【藤本教育次長】今年度の卒業式の日程等について説明。

【大倉学校教育課長】前回定例会での質疑「就学援助費受給者の中に、給食費を未納している人はいるのか。」に関して、その後調査を行い、未納者がいることを報告。

〈質 疑〉

【大村委員】未納については、どう対応するのか。

【大倉学校教育課長】今後、督促状を送り、徴収に行く。

【三浦教育総務課長】第5回定例会で協議した教育委員会事務事業の点検及び評価について、外部

評価を依頼する学識経験者が決定した旨を報告。平成26年度の臨時・非常勤職員の募集について、職種、日程等について説明。

【安田委員長】本日の議事がすべて終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成25年12月19日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課課長補佐